

# 鶏舎へのクラウドIoTシステムの実装

R2.4.10現在

事業者	大宜味村		
事業費	15,000千円	活用している補助事業	平成30年度IoT実装推進事業
事業概要	鶏舎内にクラウド接続IoTセンサーを設置し、鶏舎内環境の数値化、可視化する。 高低差のある広大な敷地でのルーティン巡回業務を省力化、業務効率化をはかる。 鶏舎内環境保全に関わる業務時間増加により成績向上（死鳥発生低減）▶売上高向上を目標とする。		

## 課題

- ・慢性的な高齢化、人手不足
- ・人の労力、経験に頼った飼育
- ・広大な鶏舎敷地面積で  
ルーティン見回りに要する労力甚大  
→管理保全が十分でない状態  
→成育率94~95% (本土平均▲2~3%ロス)

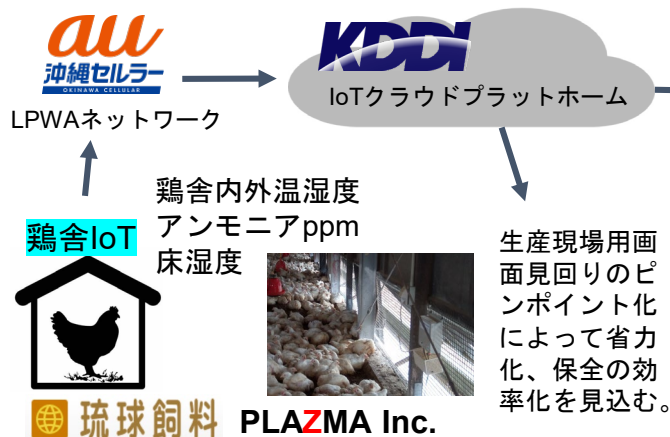
## 方策

- ・鶏舎内環境IoTセンサーを設置  
対象規模：総床面積4,750坪
- ・センサー総数：3箇所×29棟
- ・監視カメラ：1箇所×29棟
- ・クラウド中央管制システム
- ・クラウドデータベース

## 成果目標

- ・飼育環境保全のピンポイント化による見回り歩行距離短縮  
▶飼育環境保全業務充当時間増  
▶飼育環境保全に関わる作業時間増による成育率**1%向上**  
(死鳥発生率の低減=売上高向上)

## 大宜味村における鶏舎クラウドIoTシステム概要



### 課題

死鳥発生や生育不良の因子が複合的であり、鶏舎内環境データだけの解決は困難な事が判明

2019年度：飼料摂取データ取得開始  
 飼料消費量と体重増加（生育傾向）は相関があることが既知のため、鶏舎内環境値と飼料消費の傾向観察を続けることで、飼育環境保全の最適化を図る取り組みに移行。  
 (現在データ積み上げ途中)

